

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	2期	伊藤 恵里		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復術では損傷の経過や患部の所見に合わせて適切な損傷の評価と後療法を実施しなければならない。基礎となる解剖学的視点から骨損傷を理解し、外傷保存療法に必要な臨床知識を学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えるため、骨損傷を中心に係わる物理療法機器の取り扱い及び柔道整復術適応の臨床的判定の知識を身に付ける						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 関連する解剖学的知識を書き出せる。 2. 骨損傷についての判断・治療・予後評価ができるようにする。 3. 物理療法機器の取り扱いができるようにする。 4. 物理療法機器の意義・効果を列挙できるようにする。 5. 柔道整復術適応の臨床的判定を実施できるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
骨の名称、関節の構造、骨格筋の名称等を予備知識として覚えておく。							
教科書・参考書							
教科書「柔道整復学・理論編 第6版」(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 「柔道整復学・実技編 第2版」(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
講義中は携帯電話の電源は切っておくこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	上肢の骨折(鎖骨・肩甲骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第2回	上肢の骨折(上腕骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第3回	上肢の骨折(前腕骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第4回	上肢の骨折(手指)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第5回	下肢の骨折(骨盤・大腿骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第6回	下肢の骨折(大腿骨・膝蓋骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第7回	下肢の骨折(下腿骨)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第8回	下肢の骨折(足・足趾)			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第9回	総復習			柔道整復学・理論編 第6版	教科書・筆記用具・ノート等		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として、接骨院勤務、整形外科勤務、スポーツトレーナーを経験。研修会や接骨医学会に所属。上記経験を踏まえ骨損傷について解説していきます。							
メールアドレス							
e.ito@nihonisen.ac.jp							